



長島の子表彰式

子どもたちの優れた個性を伸ばす

1月27日、長島の子表彰式が長島町文化ホールで開催されました。これは、町内児童生徒の優れた個性を発見、表彰することで心身ともに健全な児童生徒を地域ぐるみで育てることを目的としています。

賞は奉仕・親切・スポーツ・学芸・読書・創造・勤労・友情・特別賞の9つがあり、今年は町内の小学6年生113人と中学生1人、高校生1人に賞状とメダルが一人ひとりに贈られました。

受賞者を代表して濱田ひかりさん（城川内小・6年）は「今日の表彰で褒めてもらった『自分なりの良さ』を大切にそしてさらに素晴らしい長島の子を目指してがんばります」とあいさつしました。



↑一人ひとりに賞状とメダルが手渡される



法務大臣感謝状を受賞

人権擁護委員として12年間従事

人権擁護委員の餅原美栄子さん（川床中）の法務大臣感謝状贈呈式が1月26日に役場で行われ、鹿児島地方法務局川内支局の染川洋一郎支局長から感謝状が伝達されました。

餅原さんは、平成18年に人権擁護委員として委嘱されてから今回の退任までの12年間、特設人権相談や町内の小・中学校における人権教室の開催、人権の花運動などを通して人権擁護に尽力されました。この長年の功績を認められ今回の受賞となりました。



↑感謝状を手にする餅原さん（写真中央）



第16回長島すいせんウォーク

晴天の中、笑顔でウォーキング

1月20日、第16回長島すいせんウォークが開催され、町内外から約1,300人が参加しました。

晴天に恵まれたこの日、参加者らは長島町文化ホールを発着点とするすいせんめぐりコース（12㎞）と古墳めぐりコース（6㎞）の2コースに分かれ、沿道のスイセンの花や国道からの景色を眺め、思い思いのペースでウォーキングを楽しんでいました。

すいせんめぐりコースの途中では、唐隈子ども育成会がボランティアとして参加し、参加者らにミカンやジャガイモを配布するなど、大会を盛り上げていました。



↑スイセンの花を眺めながらウォーキング